

議会だより ひらゝずみ

第176号

令和4年8月1日

定例会6月会議

夢のマイホームが できました

岩手に戻り、自分で家を設計し建てるという夢がかなった阿部大樹さん。

上棟後、材料高騰で大変でしたがようやく完成です。(関連記事P16)



●主な内容

町内事業者、活性化への展望は
コロナ後を見据えて……………2

議会6月会議
大型事業から転換の兆し
地域・分野別課題の対応へ……………4

一般質問
ここが聞きたい
5議員が町の考えを問う……………9



議会だよりひらゝずみ 176号 発行/平泉町議会 編集/議会広報編集特別委員会 平泉町平泉字志羅山45-2 TEL 0191-34-5595 HP <https://www.town.hirainzumi.iwate.jp>

シリーズ7 頑張る人 筋トレ・脳トレ・継続は力なり!!

ほほえ 12区微笑みの会 鈴木節郎代表

百歳体操のモデル地区として、平成27年11月にスタート。コロナによる休みもありましたが、7月7日で300回記念となりました。喜んで駆けつけて戴いた、福田こうへいさんの一族の方々に感謝です。

体操が始まる前から交流の場になっており、皆さんと顔を合わせることが楽しみです。準備や段取りなど、始めた頃は手探り状態で大変でしたが、毎回楽しみに来て下さる方々の顔を思い浮かべながら、何とか続けてこられました。「百歳体操のおかげで膝の調子が良くなった」「ペットボトルのキャップが開けられるようになった」等の話を聞くと嬉しい限り、何歳になっても筋力強化は、大切です。100歳まで皆で、筋力・脳トレーニングをしていきましょう。



いつもは手足に重りをつけています

あとがき

収束の兆しが見え始め、新型コロナウイルス感染症後の話題を耳にする機会が増えました。しかし、様々な品目の値上げで、町内の工業者、農業者はまだ

まだ苦境に立たされています。国には、継続的な支援を望みます。阿部圭一

編集スタッフ

委員長	阿部圭一
副委員長	稲葉圭二
委員	大友 氷室 升沢 裕史
委員	大友 仁子

令和4年4月1日発行、議会だより第175号の記事に、誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

P20「表紙の紹介」の写真キャプション
(正) 垂梨沙さん (誤) 垂梨妙さん

表紙の紹介

家族と併せて平泉で

阿部大樹さん(36歳)は、大学で建築を学び、構造設計の仕事をしている設計士です。東日本大震災をきっかけに岩手に戻りました。

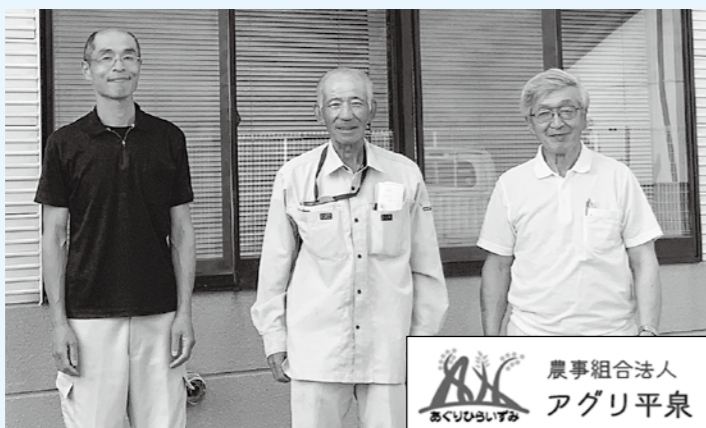
建てる夢が叶い、「子どもたちのためには何でもしたい」という思いです。「不慣れですが、祖父がやっていた農業も夢中でやりたい」とも語ってくれました。



町民の皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。

議会だよりは再生紙を使用しています

農事組合法人アグリ平泉
左から青木慶さん、石川文士良代表、
佐々木正さん



アグリ平泉はワインの醸造をはじめ、小麦、大豆、ネギ等を生産しています。また毛越寺門前直売「あやめ」を経営、コロナで売り上げが落ちましたが、多角経営で乗り切っています。平泉ワイナリーはブドウ栽培

をを広げ、ロットを増やしてワイン特区の取得が目標です。町からの支援はありますが、資材、燃油の高騰で厳しい状況です。町には6次製品の販売促進や販路開拓、若者の就農に取り組んでほしいです。

コロナが始まった2年前は中尊寺の駐車場が閉鎖され、お客さまはゼロでした。昨年はコロナ前の半分、今年は徐々に増えてきました。中でも、

県外からの観光客も増えてきて嬉しいのです。藤原まつりも天候に恵まれ、お客様にも沢山来て頂きました。町には、るんるんバスの平日運行と、継続的な支援を望みます。

お休み処 夢乃風
千葉恵美子さん
名物のもち、そば、すいとんが自慢です。



志羅山で旅館舞鶴を営む
千葉敏弘さんご夫婦
美味しいと評判の料理が自慢です。



コロナ1年目はお客様のキャンセルが続き大変でしたが、町の支援に助けられ、現在は90%回復しています。コロナ後を見据え、町には

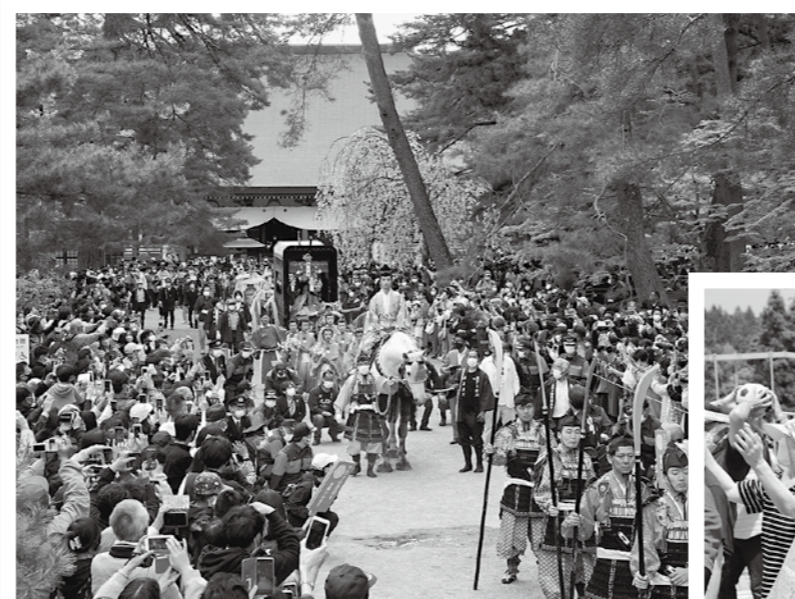
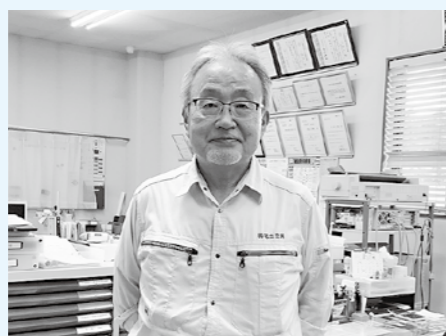
世界遺産平泉の素晴らしさをアピールしてほしいです。夢は、増築をして事業を拡大することです。

コロナ後を見据えて 町内事業者、活性化への展望は!

コロナ禍により、国や県の補助を受けながら、学校の自動水栓化や達谷窟のトイレ改修等の工事をしてきました。早い対応を目指しておりますが、中国のロックダウンにより機器納入が遅れ、お客様にはご不便をお掛

けています。従業員不足が悩みです。町内で働ける方を募集中です。重機のオペレーターになってみませんか、女性の方も大歓迎です。一緒に明るい職場・未来を目指していきましょう。

有限会社 花立空調
鈴木勉さん
「困っている人の力になる」をモットーにしています。



「藤原まつり」平泉に活気戻る



3年ぶりの開催ではつらつと「いきいきシルバースポーツ大会」

新型コロナウイルス感染症の蔓延から3年、藤原まつりの賑わいやスポーツ大会の笑顔、そして事業者の皆さんの意気込みに、コロナ後の展望が見えてきました。

支援事業

- 中小企業支援事業者持続化補助金
- まちはく促進キャンペーン (第1・2・3弾)
- 平泉町内事業者等応援商品券

これからの支援

- まちはく促進キャンペーン (第4弾)
- 中小企業等経営支援金
- 平泉町内事業者等応援商品券

大型事業から転換の兆し 地域・分野別課題の対応へ

令和4年度補正予算

会 計	補正額	補正後予算額
一般会計(第2号)	4598万円	47億1669万円
一般会計(第3号)	1億1878万円	48億3547万円
一般会計(第4号)	3088万円	48億6635万円
町営駐車場会計(第1号)	△5万円	5326万円

※単位未満を四捨五入しています。

令和3年度補正予算

会 計	補正額	補正後予算額
一般会計(第13号)	4911万円	60億1786万円

※単位未満を四捨五入しています。

そのうち特定空き家等は4戸であり、内3戸は所有者や相続関係者が解体済みである。今回残りの1戸を解体することによって著しく危険な空き家はなくなる。今年度改めて空き家等について調査する予定である。



議案第30号 畜産農家への支援の 展望は

問 ここ数年、基金残高にあまり変動が見られないが、利用者が無いに等しいのではなにか。この基金を今後もし残していく必要性はあるのか。

答 より多くの町内畜産農家に支援が行えるように、貸付け対象者を女性農業者から農業従事者に改め、支援対象を拡大していく。また、餌や燃油等の高騰により子牛市場も高騰している現状がある。農協、生産者団体と連携しながら、今後も畜産振興のためにこの基金を活用して、積極的に推進していきたい。

議案第31号 地域課題への対応は 計画的に

問 地域課題は毎年多くの要望が各地区からあげられる。その中には何年も前から継続的に要望されているものも多くあるが、今後どのように対応していくのか。



地域課題対応事業で修繕予定の外山入口橋(7区)

認が重要だと考え、各担当課等と現場を見た上で、区長の立ち合いにより確認をしている。その際に、緊急性の高さ等も確認可能である。また、継続的に要望されているものは、実施できない理由を調査し、状況に応じて県などの外部団体に伝えている。対応方針を明らかにし、今後は必要に応じて地域課題対応事業ではなく、通常の事業として行うことも必要と考え、総合的に検討して進めていきたい。

増加する空き家への 対応は

問 空き家の現状と特定空き家への対応を今後どのように進めるか。

答 平成28年に調査を行い、空き家は152戸となっている。

請願審査

請願第1号 えん罪被害者一刻も早く救済するために再審制度の速やかな改正を求める請願

- 提出者 日本国民救援会 岩手県本部会長 水戸正男
- 請願内容 刑事訴訟法の改正を速やかに行うよう意見書の提出を求める。
 - ① 再審請求手続きにおける全面的証拠開示の制度化
 - ② 再審開始決定に対する検察官の不服申し立てできない制度に改正

総務教民常任委員会の審査の結果、**不採択**の報告を受け本会議で審議しました。

討論

<p>反対です 真筆議員</p> <p>えん罪は決してあってはならないものであるが、本請願は司法に関わる重要な課題であり、専門家による多角的な検証を必要とするものである。また、地方議会の審議する範囲を超えたものであり、安易な判断で採択すべきではない。</p>	<p>賛成です 三枚山議員</p> <p>ある日突然容疑者となり、犯罪者とされた例は多々あり、決して他人事ではない。えん罪をなくすため、地方から声を上げていくことが大事である。同様の請願は県内の複数の市町村でも採択されており、採択すべきである。</p>
<p>反対です 氷室議員</p> <p>本請願は、一地方議会の審議の範囲を超えたものである。高度な専門的な知識を有せず安易に判断を下し総花的に採択することは請願者に対する冒とくとも考えられる。</p>	<p>賛成です 高橋(伸)議員</p> <p>えん罪は国家による最大の人権侵害の一つである。平泉町民がある日突然無実の罪を着せられるえん罪被害者にならないとも限らない。再審法改正は過去一度も改正されておらず、えん罪をなくすためにも改正されるべきである。</p>

採決の結果、賛成少数で**不採択**になりました。

定例会6月会議

議会定例会6月会議は6月9日から16日まで8日間の会期で開かれました。条例の一部改正や補正予算などを慎重審議し、提出議案全て可決しました。
また、一般質問には5人の議員が登壇し町政課題、教育課題などについて町の考えをいただきました。

定例会4月会議

報告第1号

平泉町町税条例等の一部改正の専決処分

主な改正

- 個人町民税：所得税の住宅ローン控除の適用期限を4年延長。
- 国民健康保険税：基礎課税額に係る課税限度額を63万円から65万円に、後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額を19万円から20万円に引き上げ。

報告第2号

一般会計補正予算の専決処分

問 減債基金への積み立て1億4100万円の目的は。

答 現時点での剰余金を積み立て、償還期限を繰り上げて行方の際、地方債償還に充てる。

問 繰上償還の予定は具体的に計画にされているのか。

答 有利な繰上償還などの判断をしながら執行したい。積立後の基金の額は2億7245万円になる。

議会改革

～4月から変わったこと!!～

質疑回数削減と一問一答方式の導入

論点、争点を明確にするため、一問一答方式を取り入れ質疑の回数制限を撤廃しました。
4月会議、6月会議では活発な質疑が行われました。

議長 高橋 拓生

開かれた議会、わかりやすい議会を目指し、議会での議論の活性化を期待している。

議会改革推進会議
委員長 高橋 伸二

議員の政策判断で、言い足りない事、聞き足りない事を無くし、納得して議決ができる。

4月28日、議会定例会4月会議が開催され、提出議案はすべて原案どおり可決しました。
任期満了に伴い、各常任委員及び議会運営委員が選任されました。(関連記事7ページ)

オンライン会議を導入



タブレットにより会議に参加

感染症のまん延防止措置の観点や病気療養等により、登庁できない場合、委員会へのオンラインを活用する会議出席が認められるようになりました。
4月28日開催の議会運営委員会、産業建設常任委員会でオンラインによる委員会が開催されました。

副議長 升沢 博子

デジタル時代の危機管理でオンライン会議を導入、議事を止めずに責任を果たす事ができる。

議会運営委員会

佐藤孝悟 委員長

議会ごとに改善点を検証し、議会運営に努めます。



誰が委員になるの？

定数は5人で、各常任委員長と副議長などで構成し、議長も会議に参加しています。

議会運営委員会は何をする委員会？

議会をスムーズに運営するための話し合いを行う委員会、定例会の日程や本会議の進行手順を話し合ったり、議会に関するルールを話し合っています。

任期／令和4年4月28日～令和6年4月14日

委員会の構成が決まりました

産業建設常任委員会

升沢博子 委員長

町民の暮らしに関わる道路改良、命の源である農業の抱える課題、コロナ収束後の観光産業などの課題解決を目指します。

調査テーマ

- ・ 社会基盤整備
- ・ 農業振興策
- ・ 観光・産業振興策



総務教民常任委員会

氷室裕史 委員長

前期に取り組んだ高齢者支援の旗印となった「世代間交流」をテーマとして、後期は子育て支援に取り組んでいきます。

調査テーマ

- ・ 子育て支援



ここが聞きたい!

一般質問で町の考えを問う

一般質問は、議員が執行機関である町長などに対し、事業の状況や将来の方針などの諸問題について問うものです。

平泉町では一人60分以内の制限時間で質問を行います。



ライスアート in 平泉

氷室裕史 議員

P10

- ①スマートインターチェンジ周辺の企業誘致を含めた整備事業と駐車場の利活用
- ②道の駅の農産物の出品ならびに加工品販売



真篔光幸 議員

- ①平泉町中小企業者及び小規模企業者への支援策



P11

大友仁子 議員

P12

- ①子育て支援
- ②学校給食費



三枚山光裕 議員

- ①新型コロナウイルス感染症の影響及び物価高騰にかかる支援
- ②住宅リフォーム・リノベーションに対する助成
- ③県道一関・北上線整備事業にかかる移転対象等へのサポート



P13

阿部圭二 議員

P14

- ①子育て世帯の支援
- ②人口減少が進む状況下における今後の政策
- ③国民健康保険税



※掲載している内容は、質問者自身が要約し広報委員が校正したものです。
※全文は、議会ホームページでご覧いただけます。



議案内容と審議結果

賛否のあった議案以外は全員賛成で可決しています。

議会定例会 6月会議 (6月9日～16日)

議案番号	議案及び内容	関連ページ
条例の一部改正		
第29号	手数料条例 (狂犬病予防法の改正に伴い、6月1日以降、マイクロチップを装着した犬の登録手数料を無料とする一部改正)	
第30号	肉用牛導入資金貸付基金条例 (貸付対象者を男女問わないものに一部改正)	4
令和4年度補正予算		
第31号	一般会計補正予算(第3号) (主食用水稲作付燃油・資材高騰支援事業1011万円、まちはく促進事業1200万円、中小企業等経営支援1600万円など)	4・5
第32号	町営駐車場特別会計(第1号) (駐車場使用料の減額など)	5
第33号	一般会計補正予算(第4号) (子育て世帯臨時特別支援金事業3060万円等の補正)	5
報告		
第3号	繰越明許費繰越計算書 (令和3年度から令和4年度に事業費を繰り越し5事業、2億7486万6000円)	
請願審査		
請願第1号	えん罪被害者を一刻も早く救済するために再審制度の速やかな改正を求める請願	5

議会定例会 4月会議 (4月28日)

議案番号	議案及び内容	関連ページ
令和4年度補正予算		
第28号	一般会計補正予算(第2号) (プレミアム付き商品券事業委託料3128万4000円、団体旅行貸切バスツアー支援事業補助金500万円など)	5
報告		
第1号	町税条例等の専決処分 (地方税法等の一部改正に伴い、個人町民税、固定資産税、国民健康保険税を一部改正)	6
第2号	令和3年度一般会計補正予算(第13号) (減債基金積立金1億4170万8000円、まち・ひと・しごと創生推進基金積立金2870万円の減、除雪委託料1050万円の減など)	5・6
議員提案		
発議第7号	総務教民常任委員会所管に係る調査	7
発議第8号	産業建設常任委員会所管に係る調査	7
議長提案		
常任委員の選任		
・総務教民常任委員 (氷室裕史、真篔光幸、佐藤孝悟、阿部圭二、猪岡須夫、稲葉正) ※高橋議長は選任後辞退		7
・産業建設常任委員 (升沢博子、三枚山光裕、千葉勝男、高橋伸二、大友仁子)		
議会運営委員の選任 (佐藤孝悟、阿部圭二、氷室裕史、大友仁子、升沢博子)		

賛否のあった議題

(賛成：○、反対：×)

議案	議員名											賛成	反対	採決結果	
	大友仁子	稲葉正	猪岡須夫	氷室裕史	阿部圭二	三枚山光裕	真篔光幸	高橋伸二	佐藤孝悟	千葉勝男	升沢博子				高橋拓生
請願第1号 えん罪被害者を一刻も早く救済するために再審制度の速やかな改正を求める請願	×	×	欠席	×	○	○	×	○	×	○	×	-	4	6	不採択

※採決に議長は参加していません。

議長交際費を公表します

- 4月分 2万3000円
(町老人クラブ総会、気仙沼市「高衡会」総会など4件)
- 5月分 9000円
(商工会通常総会、建設業協会表彰式など3件)
- 6月分 1万1500円(花環代など2件)

※詳細はHPをご覧ください。



議会定例会 9月会議のお知らせ

9月7日(水)～16日(金)
開催予定

※本会議はインターネットで生中継しています。





議員 室裕史



食品衛生法に対応した製造設備は

道の駅と町で提案し合い対応

問 食品衛生法の改正により2年後の2024年5月までに対応しなければ、町内の食品加工品出品者のほとんどが道の駅に出品することができなくなる。現状、食品衛生法に対応できる製造設備はあるのか。

町長 旧公民館と門前直売「あやめ」で対応できると考える。7月にオープンした学習交流施設工場の調理室は、社会教育法に則った施設であり、営利目的あるいは営利に關わる目的の使用は認められていない。

問 2年後までに各家庭が製造出荷用の製造施設を作ることは困難であり、対策を講じなければ現実的に町内の加工食品の製造出品者は1名になる。この現状をどう考えるか。

町長 野菜出荷部会で話があたり、長島地区においては出品、回収の業務を行う者がすでに決まっている。平泉地区は担当が未定であり、現在声掛けを続けている状況である。

問 新たな後継者雇用支援事業として、町内の技能士(職人)一人親方に対して、技術者育成補助金を交付することはできないか。



家庭の味を出荷できる体制作りを

町長 現在、道の駅と担当課で協議し、新たな方向性を模索している。その中で町の方針を道の駅に押し付けるだけでなく、運営主体にも積極的な提案をもらいながら対応していくことが重要であると考えている。

問 町内の農産物出品者の負担軽減の方向性は。

町長 野菜出荷部会で話があたり、長島地区においては出品、回収の業務を行う者がすでに決まっている。平泉地区は担当が未定であり、現在声掛けを続けている状況である。

問 SIC周辺の誘致予定地全体を予め町が取得し、企業が進出しやすいように区画整理する手法をとることはできないか。

町長 事業として早急に進めるには、町が先んじて土地全体を買い上げ整備し、分譲する方法も考えられるが、進出が決まらない段階での整備は財政的な問題もある。仮に進出を考えている企業が整備された土地を買い取ったという意思を示した場合に、整備の検討は可能である。

問 企業の個別進出の容認、また進出企業への固定資産税減免などの方策を取ることによって、誘致を活性化させることが可能ではないか。

町長 個別進出も当然認めているが、ディベロッパーを介した一体的な開発を進めたいという思いがあり、現在、主体的に全体的な開発をしていく方々と懇談をしている。

町長 商工会と連携して国・県の支援策を活用して伴走型支援を推進したい。

問 ディベロッパーを介さない

このままでは2024年の6月から道の駅に加工食品を出品できない方がほとんどになります。町には今後も道の駅で家庭の味を楽しむための対応を求めます。



誘致の促進に更なる一手を (SIC南側)

議員のひとりごと

※ SICとは…スマートインターチェンジの略。

※ディベロッパーとは…開発事業者を指し、その地域の土地開発等を手掛ける者である。

進出企業へわかりやすいメリットを

企業奨励条例で対応する

企業の個別進出の容認、また進出企業への固定資産税減免などの方策を取ることによって、誘致を活性化させることが可能ではないか。

町長 当然認めているが、ディベロッパーを介した一体的な開発を進めたいという思いがあり、現在、主体的に全体的な開発をしていく方々と懇談をしている。



議員 前光幸



問 技能後継者育成支援事業として、国のマイスター制度を活用し、現在従事している場所で、マイスターによる技術指導が受けられる仕組みの構築を検討できないか。

副町長 平泉商工会には経営指導員がおり、経営面の指導を含め、事業者個々に対応している。

問 新たな後継者雇用支援事業として、町内の技能士(職人)一人親方に対して、技術者育成補助金を交付することはできないか。

町長 技能の継承を図る事には、事業者が苦勞されていると認識する。若者等ふるさと就職支援事業補助金で支援している。

問 新たな若手従業員を雇用する事業者(一人親方を含む)に対して、技能技術の継承を図るため、建築板金・大工・左官・塗装・石材施工など計12種の専門技能育成者への技術移転交付金と、修業する後継候補

者への生活支援補助を行うなど、事業の継続を直接支援する施策の検討をすべきでは。

課長 一関高等職業訓練校と両磐地域職業訓練センターに補助金を出しているため、両校を活用してほしい。

課長 マイスター制度など国や県と連携して、町が職人を養成する匠プロジェクトを企画できないか。

課長 マイスター制度について、ホームペー

課長 ホームページでも周知できればと考える。

課長 マイスター制度について、ホームペー

ページでも周知できればと考える。

職業訓練校・訓練センターの活用を

技能後継者へ雇用支援補助を

中小企業者への事業継続支援を

商工会と連携して支援する

町長 商工会と連携して国・県の支援策を活用して伴走型支援を推進したい。

問 町内商工業者の数の推移と今後の展望は。

課長 年々減少傾向にあるので、減少しないよう支援し、施策を展開したい。

問 少子化による後継者の不足や、経営者と従事者の高齢化により事業の継続が困難である。新たな支援策を講じてはどうか。

町民の生活環境の維持を支える技術・技能を持つ町内中小企業及び小規模企業・一人親方。町の宝である技術を次代に守り伝える役目が、町にも住民にもあることの認識を共有し、町の宝は町が維持し育てる施策が必要です。

議員のひとりごと



議員 大友 仁子

児童手当の拡充を

答 町独自の拡充は考えていない



問 20代から40代の子育て世代に思い切った支援をすることが我が町の未来へつながると確信する。子育て支援のアンケート調査を実施した結果、「児童手当の拡充」が最も多かった。町として児童手当の拡充をすることはあるか。

町長 子育て世帯への経済的負担の軽減策は、国の責任において実施すべきと考えている。町独自の児童手当の拡充は考えていない。子育て世帯への経済的な支援策として、出産祝い金の支給や高校生等までの子ども医療費制度など、経済的負担の軽減につながる施策を積極的に進める。

問 内閣府が実施した令



安全・安心な美味しい給食を

和2年度少子化社会に関する国際意識調査によると、子育てを負担に思う理由は、子育てに消費がかさむが最も多かった。この結果を受けてどう考えるか。

町民福祉課長 子育てに関する拡充は、まだ足りない部分がある。現在、国で、出産育児一時金の拡充を検討している。今後、子育ての満足度が高まるように検討したい。

学校給食費に負担軽減を

答 必要があれば交付金を検討する

問 新型コロナウイルス感染症の長期化、そして本年2月末以来のウクライナ危機による物価高騰の影響が、学校給食費の値上げにつながると懸念される。学校給食の食材調達現状と、食材費と予算のバランスを含めた、今後の見通しを伺う。

教育長 野菜は道の駅や町内商店、町内生産者などから調達している。各小学校の給食費は、食材等価格の高騰に対し、昨年度、年額3300円の増額改定を行った。今後は、給食費を維持しながら栄養バランスに配慮した安全で安心な提供に努める。

問 文科省は、学校給食等の負担軽減対策として、これまでどおりの栄養バランスや量を保った学校給食が実施されるよう、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を拡充・活用し、給食費の値上げ抑制を自治体に要請しているが見解を伺う。

教育次長 今後の状況を精査し、支出状況等を加味しながら、充分検証し、必要に応じて、交付金の活用を検討する。

問 地域・地元産の食材を採用することで、供給の安定化が図られるとともに、食育の観点からも

有用と考えるが見解を伺う。
教育長 第6次平泉町総合計画の中で、地場産物を活用した学校給食の充実と食育の推進について取り組む。

6月補正予算でいわて子育て世帯臨時特別支援金給付事業が決定した。少しでも子育て世帯に対して役立つと思う。

議員のひとりごと

事業者や農家への支援は

答 燃料や経営、食料米作付へ支援を

問 物価高騰が深刻な事態となり、町内事業者や農家への影響が広がっている。町としての対策が必要ではないか。

た経費の一部を支給する。

町長 「原油高騰対策運送事業者等支援金」として、社会インフラ維持に必要な業種等で事業活動を主として燃料を必要とする業種の事業者、燃料の購入に要し

問 「原油高騰対策事業支援金」について、例えば新聞販売店などは対象になっていないのか。

た経費の一部を支給する。経営支援として、昨年度実施した支援金5万円に、原油高騰対策分として上乗せによる支援強化を図る。

また、主食用米作付農家に対し、10アール当たり1500円を交付する「主食用米水稻作付燃油資材高騰支援事業」として、補正予



議員 三枚 山光 裕



春肥はさらに高騰が心配される

リフォーム助成の制度を

答 建築関係者と懇談し施策に

問 大手ハウスメーカーが新築の7割を受注すると言われているなか、地元建築業にとって住宅のリフォーム・リノベーションの仕事は重要な分野である。仕事の確保は、技術継承、後継者づくりの上でも重要で、町民の住環境の充実に役立っている。住宅リフォーム・リノベーションへの助成が必要ではないか。

町長 建築資材価格の上昇が止



雪害による屋根の改修工事

まらない状況にある。住宅環境の改善に対する潜在需要は高いものと認識しており、町内建築業者の育成は重要と考えている。

社会情勢が大きく変化している中、平泉建築組合等との懇談の場を設け、課題の把握に努めたい。

問 住宅建設費が7%アップし、資材費も20%上がっている。地元で仕事が回れば地元経済が回る。物価高騰の点からも、

助成制度が必要ではないか。

助成制度が必要ではないか。

副町長 今後、建築関係の方々との懇談をしながら、どのようなことが必要なのか整理し、施策に結びつきたいと考える。

その他の質問
・県道一関・北上線整備事業に係る移転対象者等へのサポート

2倍～3倍となった秋肥注文に、「後継者もないし、これでは農業続けられない」と悲鳴があがっている。「軍事費2倍」より食料安保こそ大事だ。

議員のひとりごと



阿部圭二議員

学童保育の入所基準は

【答】家庭環境や学年等を配慮している



問 学童保育の支援体制は十分なのか。学童保育に入りたい人たちがすべてが入れるようにすべきではないか。

町長 支援員の配置基準は満たされている。土曜日や夏休みなどの長時間勤務や想定しないケースには十分とはいえない。家庭環境や学年等を配慮し、入所決定している。

問 子育て世帯を救う一番の方法は、町が学校給食費の全額や一部負担をすることではないか。

教育長 生活保護世帯の学校給食費は、就学援助制度で全額援助となっており、経済的に厳しい世帯は負担軽減されている。

問 児童クラブの学習支援は「たばしね児童クラブ」ではできない状況である。支援員の人数もその余裕もないようだが支援できないのか。

町民福祉課 管理運営規則には活動内容として、児童の管理、安全確保、遊びの活動意欲、態度の形成などとなっている。学習的支援は明記していないが、運営委員会の中で保護者と相談しながらその範囲で行っている。



長島小学校体育館に併設の「たばしね児童クラブ」

問 町長施政方針演述で「コンパクトな町の強み」を今後どのように活かしていくのか。

町長 地域懇談会や区長会、各委員会、若者世代や各種団体との意見交換により、町民の声を聞くことで、持続可能な町にしていく。

問 人口減少によって生み出された空間を、公共空間に当て、歩道の整備や公共施設の充実を図るべきではないか。

町長 公共施設整備は、種類や規模、財政状況をみて、人口減少の現状や将来

予測を勘案し、必要な整備を進める。

問 被災する可能性の高い地域から低い地域への転居を進めてはどうか。また、空間的余裕を、住みやすさや景観の改善、防災力の強化につなげるべきではないか。

町長 空き家などへの転居は、居住・財産権の問題があるが、建て替えや住み替えの相談がある場合には、必要な援助や情報提供を行う。関係課と相談し、安全安心の町をつくる。

その他の質問
・国民健康保険税

人口が減りいろいろな事に支障を来す前に職員を配置し、町民の補佐をしていく必要があるのではないかと。

議員のひとりごと



地域懇談会の様子（5区）

町の強みをどのように活かすのか

【答】町民の声を聞き持続可能な町へ

町政調査会活動の様子

議員研修会を開催

【テーマ】質問力・質疑力の向上で議会機能の強化を図る

【期 日】令和4年5月27日

【講 師】岩手県町村議会議長会

参与 米田武美氏

議員は住民の意思を行政に反映させる責任があり、そのための重要な機能である「一般質問」について、質問力の向上を図り議会の機能を強化することを学びました。



「世界遺産環境整備の日」6月26日早朝の高館橋西側入り口付近の清掃活動



4月会議から導入した一問一答質疑方式について、わかりやすく解説



令和3年度 政務活動費収支状況

政務活動費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として議員一人当たり月額5千円、年間で6万円を上限として議員個人に支給されます。

各議員の政務活動費の収支報告書は閲覧することができます。

閲覧場所 平泉町議会事務局

閲覧時間 午前8時30分から午後5時15分まで（土、日、祝日を除く）

単位：円

議席	氏名	収入額	支出科目				政務活動費支出額	政務活動費精算額 (6万円上限)	政務活動費返納額
		政務活動費補助金	研修費	資料購入費	広報費	事務費			
1	大友 仁子	60,000		9,972		17,626	27,598	27,598	32,402
2	稲 葉 正	60,000		24,602			24,602	24,602	35,398
3	猪 岡 須夫	60,000					0	0	60,000
4	氷 室 裕史	60,000		9,972			9,972	9,972	50,028
5	阿 部 圭二	60,000	20,000	22,402		9,614	52,016	52,016	7,984
6	三枚山 光裕	60,000		5,940	108,460	0	114,400	60,000	0
7	真 筆 光幸	60,000		19,582		2,120	21,702	21,702	38,298
8	高 橋 伸二	60,000		51,372		12,280	63,652	60,000	0
9	佐 藤 孝悟	60,000		9,972			9,972	9,972	50,028
10	千 葉 勝男	-					-	-	-
11	升 沢 博子	60,000		39,972		6,876	46,848	46,848	13,152
12	高 橋 拓生	60,000		28,362	5,500	15,420	49,282	49,282	10,718
	合 計	660,000	20,000	222,148	113,960	63,936	420,044	361,992	298,008

※調査研究費、会議費、資料作成費の支出はありませんでした。

※収入額を超えた支出は、自己資金で負担しています。